鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
仏壇・仏具・御宮 神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

3月1日号
2025年(令和7年)
第552号
毎月1日発行
(一部税込み220円)

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

中世のロマン求めて300人が見学

若宮大路周辺遺跡群で鎌倉時代の石敷きなど

市民に鎌倉の遺跡の様相を見てもらい、歴史を身近に感じてもらおうと、若宮大路周辺遺跡群の発掘調査の現地説明会が2月15日開催され、約300人が見学した。

場所は鎌倉市雪ノ下の鎌倉市川喜多映画記念館南側の土地で、集合住宅建築に伴い、昨年12月から一般社団法人鎌倉・中世文化研究センター（馬淵和雄所長）が発掘調査を実施している。

調査面積338㎡を2分割し、今回前半部分の約8m×約20mを約1m～1・5m掘り下げた。

これまでに、鎌倉時代後期の東西道路（窟屋小路の一部）とそれに直交する南北道路、もしくは寺院（松源寺廃寺）石敷き遺構と、木組みの側溝を持つ道路遺構、井戸などが発見されている。町屋跡とみられる面から、大小のかわらけ皿、瀬戸・常滑や青磁・白磁の陶磁器、瓦、杓文字、硯や塔婆なども出土している。

馬淵所長は「これだけの石敷きが鎌倉で発見されたのは初めてではないか」と話している。発掘調査は6月15日まで。今後、残り半分の発掘も行われる。

鎌倉市雪ノ下1丁目156番1

若宮大路周辺遺跡群の現地説明会＝2月15日（鎌倉・中世文化研究センター提供）

出土した木組みの側溝

鎌倉木樹（きぎ）めぐり ⑪

光則寺のワビスケ

冬枯れの庭の池のほとりに1月末ごろからワビスケ「太郎冠者」がピンク色の花を多数つけてたおやかに咲いている。

ここ光則寺は鎌倉有数の花の寺。境内奥の「太郎冠者」は、幹回り約60㎝、高さ約4mのほっそりした木で、枝を広げている。

ワビスケはツバキ科ツバキ属の常緑高木。花は小ぶりで、ラッパ上に開き、全開せず、その控えめな姿が茶花に向く。

境内にはほかにも数種類のツバキが植えられており、入口から左に回るとある「胡蝶侘助（わびすけ）」は桃色地に白班が入る花。つぼみはまだ固く、開花が待たれる。さまざま品種のツバキがつぎつぎ咲き、ここしばらくは楽しめそうだ。

文　小林千穂
写真　松原省吾

鎌倉桜「桐ケ谷」を植樹

鎌倉同人会の記念事業

鎌倉の文化の発信を目指す市民団体「鎌倉同人会」が鎌倉桜「桐ケ谷」を2月19日、鎌倉市立御成中学校（小日山理香校長）と源氏山公園に植樹した。

同会は、1915年に陸奥廣吉らによって創設された鎌倉最古の社会貢献団体。2015年に創立100周年記念事業として、鎌倉時代のサクラを蘇らせようと市内の寺社や公共施設への植樹を始めた。以来ほぼ毎年行っており、今回で16、17本目。

御成中学校では、校舎西側の日当たりのいい、海を見渡せる場所に同会の会員たちが校長といっしょに高さ120㎝ほどの苗を植樹した。

同会では、100周記念事業に一旦区切りをつけようと「鎌倉桜『桐ケ谷』の植樹マップ」を作成した。同会ホームページからダウンロードできる。

源氏山に植樹する同人会会員

「ビルマの竪琴」朗読会

佐助サロンで

鎌倉市主催「へいわの学校（国語の時間）」の一環で2月15日、鎌倉佐助サロン（佐助1丁目）で「朗読と音楽『ビルマの竪琴』の催しが開かれ、80人ほどの市民が鑑賞した＝写真。

「へいわの学校」は、幅広い年齢層の参加者が交流しながら平和について考える企画で、音楽や美術、校外学習などの催しを市が2019年から行っている。

『ビルマの竪琴』は鎌倉ゆかりの作家・竹山道雄の作品で、今回は原作を3分の1に編集した脚本の朗読。朗読の合間に「埴生の宿」「荒城の月」「朧月夜」などのピアノのメロディーが流れ、クライマックスの水島上等兵の手紙を読むシーンでは会場からすすり泣きの声が聞かれた。

朗読後、脚本・演出を手掛けたエッセイストで鎌倉ペンクラブ会長の伊藤玄二郎さん(81)の解説があった。

伊藤さんは、20代のころ、竹山さんの鎌倉の自宅を訪ね、本人から直接作品についての話を聴いている。伊藤さんは作品の「原風景」や背景などを紹介し、「戦争はあってはならない。過ちを繰り返さないために記憶を風化させないことだ」と語った。

『かまくらのすてきなたてもののえほん』

〝第4弾〟完成

鎌倉在住の画家・伊東雅江さんによる小冊子『かまくらのすてきなたてもののえほん（鎌倉市景観重要建造物等絵でみる図鑑）』の第4弾〔金沢街道エリア・扇ガ谷〕が完成した。案内役のネコが今回紹介するのは、旧華頂宮邸、旧里見弾邸、旧村上邸古我邸など。

鎌倉の景観づくりに寄与する歴史的構造物を紹介する冊子で、ポケットに入れて持ち歩けるようCDサイズの12㎝四方。これまでに〔長谷エリア〕〔鎌倉駅周辺エリア〕〔田比ヶ浜エリア〕の3冊が発行されている。

伊東さんは「現地に行って、見てもらいたい。子どもたちに想いをもってもらい、大切にする気持ちを育てたい」と話している。

300円(税込)。(一社)ひと・まち・鎌倉ネットワークの製作で、売上金から経費を除いた分が鎌倉市景観重要建造物等保全基金に寄付される。

鎌倉市川喜多映画記念館とたらば書房で販売されている。1・2・3弾の3冊セットは寄付を含めて600円。1弾は鎌倉市役所都市景観課でも扱いがある（寄付は任意）。

えほんを持つ伊東さん

鎌倉の年中行事 3月

▼湘南江の島春まつり 8・9日江の島・片瀬海岸。
▼祈年祭 15日11時、亀岡八幡宮(逗子)。五穀豊穣、商売繁盛を祈願。
▼彼岸会 17～23日各寺院。
▼宇佐神宮遙拝式 18日10時、鶴岡八幡宮。
▼祖霊社春季例祭 20日10時、鶴岡八幡宮。

プロムナード

4月から鎌倉で「学びの多様化学校」としての、不登校特例校が開校します▼昨夏の説明会では「転入学定員30人（各学年10人）程度」の枠に対し、説明会への参加を申し込んだ児童生徒は95人いました▼このことは、関心の高さと現代社会においての必要性を感じさせられる数字と考えます▼「95人のうち25人が市外からの参加」であったり、神奈川県内の公立の多様化学校は大和市だけだったりすることからも県内外からの注目度と期待値が高くなっていると思います▼家庭という社会だけでは得られない、集団生活でのみ培われる社会性というものが存在するはずです▼鎌倉の新たなチャレンジを楽しみに応援したいと思います。（N）

鎌倉名産 梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
花咲く街 古都鎌倉

株式会社 大森商店
o.m.s.souvenir.works
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/

由比ガ浜通りのレンタルスペース

鎌倉カルチャールーム

多用途の教室、会議室、練習場に

鎌倉駅から徒歩約7分、由比ガ浜通り六地蔵そば村田ビルの2、3階フリースペースです。

広さは各室とも90㎡。3階は幅2mの鏡と大きな窓に囲まれた明るい部屋で床絨毯、ピアノ、イーゼル、椅子机、ロッカー完備。「歌と発音のトレーニング」「セザンヌの眼デッサン」「健康吹き矢」合唱団などが利用しています。

2階は全面鏡、床はリノリウム、バレエやチア、フラ、ヨガ等身体表現のレッスン場で好評です。

両階とも年間契約が優先ですが、9時～22時の間の、原則2時間以上使用の単発使用も受付中です。有料駐車場、駐輪も完備しています。

お問い合わせはお気軽に。☎090・2207・0031
http://freespace-kamakura.jimdofree.com

鏡とピアノ3階スペース